

単元名 NO (2) 「角の大きさを調べよう」 (全7時間)

単元を通してのねらい

○角の大きさの表し方を考え、単位「度」について理解し、分度器を用いて角の大きさを測定したり、角を作図したりすることができるようになる。

時間	ねらい	問題	めあて	まとめ	活用する既習事項に関して
1	半直線を回転させると、いろいろな大きさの角ができることを理解する。	281ページの円を使って、いろいろな大きさの角をつくりましょう。	角の大きさはどのように表したらいいか。	直角を90等分した1つ分を1度という。角の大きさは1度のいくつ分で表せる。	3年 三角形と角
2	分度器を使って角度を測定することができる。	分度器を使って、いろいろな角の大きさをはかりましょう。	分度器で角度をはかるにはどのようにすればいいか。	①分度器の中心を角の頂点にあわせる。 ②0°の線を辺にあわせる。 ③重なっている部分の角度を読む。	
3	三角定規のそれぞれの角の大きさを知り、三角定規の角を組み合わせてできる角の大きさを求めることができる。	(あ)～(せ)の角度をはかりましょう。	三角定規でできた角度はどのようににはかればいいか。	・三角定規の角度はそれぞれ「30°、90°、60°」「45°、90°、45°」になっている。 ・角度はたしたりひいたりしてもとめることができる。	前時 分度器での角度のはかり方
4	180°より大きい角度を、分度器を用いて測定することができる。	右の(あ)の角度は何度ですか。	180°より大きい角度はどのようににはかればいいか。	180°より大きい角度は、2つに分けてたしたり、360°からよぶんな角度をひいたりしてはかることができる。	第2時 2直角・4直角の角度 前時 角度を計算で求める
5	分度器を用いて、与えられた大きさの角を作図することができる。	50°の角をかきましよう。	角をかくにはどのようにすればいいか。	①辺ABをかく。②分度器をあわせる。 ③点Cをかく。④点Aから点Cを通る直線をひく。	第2時 分度器での角度のはかり方
6	角の作図の仕方を利用して三角形の作図ができる。	右の三角形ABCをかきましよう。	三角形を作図するにはどんな考え方が使えるだろうか。	①長さのわかっている辺をかく。②角度のわかっている角をかく。③交わる点を頂点にする。	前時 角の作図
7	基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。				